

新聞・雑誌から見る現代日本

しんぶん ざっし み げん だい にほん

第10回

だい かい

「ごみを出さない社会作り」

だ しゃ かい づく

このコーナーでは、新聞・雑誌の記事を通して現代日本事情を紹介するとともに、日本語を教える先生方が、新聞・雑誌の記事などの生教材をどうやって教材化し、中・上級の日本語の授業にどう活用できるかを提案していきます。今回は「ごみを出さない社会作り」に関する記事を取り上げますが、実際の教室活動の流れにそって質問と記事を提示しました。

「読む前に」と<キーワード>の部分は、いきなり記事を読むのではなく、記事に関する背景知識を整理して、読む準備をすることを目的にしています。「読む前に」の質問は、学習者が話題に関してどんな情報やイメージを持っているかを引き出したり、記事の内容を予測したりすることで、記事を読む意欲を高めることを狙っています。「読んだ後で」の質問は、学習者が記事を読んで自分の頭の中に作り上げたイメージを表現させたり、記事への反応を他の学習者と交換させることを目的にしています。

読む前に

よ まえ

昨年7月に行われた政府の「循環型社会形成に関する世論調査」によると、「ごみ問題に関心がある」と答えた人は全体の89.9%に上ることがわかりました。また、ごみ問題について具体的にどのようなことを知っているか聞いたところ、その答えは、「ごみの発生量が増え続けている」(80.9%)を挙げた者が最も多く、以下、「不適正なごみ処理に伴いダイオキシン等の有害物質が発生している」(73.2%)、「野山や河原等への不法投棄が大きな社会問題となっている」(70.1%)、「使い捨て型と言われる私たちの社会において、天然資源が大量に消費され、自然環境が損なわれている」(61.1%)などの順でした。

日本は、1950年以降の高度経済成長に伴って、大量生産・大量消費の社会になってきました。そして手間をかけずに生活できるよう工夫された商品がちまたにあふれ、便利で快適な生活を送れるようになりました。しかし、その結果、急速にごみが増え、大量のごみの廃棄とその処理によってさまざまな社会問題が起こってきてい

ます。私達の快適な生活は、一方で、自然破壊、地球の温暖化などの環境破壊を生んでいるのです。

今回は、このように私達人類の将来と深く関わっている「ごみ問題」をテーマにして、今後どんな社会作りが必要とされるのか考えてみたいと思います。

<キーワード>

ごみ 循環型社会 自然破壊
廃棄物処理 リサイクル 基本法

質問1:皆さんの国では、ジュースや牛乳などは何に入られて売られていますか。また飲み終わって不要になった容器をどうしていますか。

質問2:皆さんの国では、ごみをめぐってどんな問題が起こっていますか。

「月刊Newsがわかる」(毎日新聞社) 2002年6月号「環境 循環型社会基本法ができた」
『日本語教育通信』2002年1月「新聞・雑誌から見る現代日本」
第10回に掲載している記事は、著作権の関係で掲載ができません。

読んだ後で

質問3:「循環型社会」とはどんな社会ですか。記事の中にどのように書いてありますか。

質問4:ゴミ処理をめぐる法律には、「〇〇リサイクル法」のような「個別法」と、「環境基本法」のような「基本法」とがありますが、なぜ個別法と基本法の両方が必要になったのでしょうか。

質問5:見出しは、動詞を補ってみると意味がはっきりすることがあります。見出しaとbに、適当な動詞を入れてみてください。

a 省庁の壁をこえて

b 生産者に責任を

質問6:本文中にある「東京ドーム」とは、エアドーム全天候型の有名なスタジアムで、野球の試合やコンサート、各種催しに使用されています。グラウンド面積1.3ha、収容人員5万6千人

を誇る大きいドームなので、日本では、面積や容積がいかに大きいかを説明をする時、よく「東京ドーム〇〇個が入る大きさ」というようにたとえられます。皆さんの国では、このようにスケールとしてよく利用されるものがありますか。それは何ですか。

質問7:循環型社会にするためには、日常生活において、具体的にはどのような行動をしたら良いでしょうか。毎日の生活チェックリストを作ってみてください。

質問8:付録の「家庭ごみの出し方」は、2001年4月から埼玉県さいたま市民に実際に配られているものです。それをよく見て、例のように下の表を完成させてください。

品目	区分	収集する曜日	出し方・注意等
例) 牛乳パック	資源物	金曜日	洗って、開いて、乾かす
飲料用ペットボトル	ペットボトル・トレイ		
	燃えないごみ		
酒びん			

*「家庭ごみの出し方」は、地域によって違います。

<解答例>

質問1:日本のスーパーや自動販売機などで売られている飲み物は、カン、ビン、ペットボトル、紙パックなどに入っています。最近には特に、便利なペットボトルが多く出回っています。牛乳も40年ほど前まではビンに入れて売られていましたが、紙パックの牛乳が登場してからは、びんで買う人はとても少なくなりました。飲んだ後の容器は、再利用するために分別して捨てます。

質問2:日本では、ごみをリサイクルするためにごみの分別収集に取り組んでいます。ルールが複雑かつ面倒であるために徹底して守れなかったり、大きなゴミは有料なので、不法に捨てられたりするなどの問題が起きています。

質問3:資源のむだづかいをなくしたり、リサイクルを進めてごみの発生量を減らしたりすることなどで、環境への影響をできるだけ少なくした社会のこと。(記事8行~10行)

質問4:省庁がばらばらに取り組んでいると、法律のすり合わせや役所間の連絡、協力がうまくいかないことがあり、個別法をたばねる基本法を作り、基本的な考えを示す必要が生まれました。

質問5:省庁の壁をこえて(ごみ問題に)取り組もう
生産者に責任を(負わせよう)

質問7:毎日新聞社「月刊ニュースがわかる〔小学生〕」には、次のチェック項目などの入ったリストが載っています。

- ① 買い物に行く時、買い物袋を持っていく。
- ② 少し値段が高くても、リサイクル製品を買っている。
- ③ ごみを分別し、リサイクルできるようにしている。

さて皆さんは、いくつ実行していますか。他に実行していることがありますか。

今回取り上げたテーマや練習案についてのご意見をお待ちしています。また、今回の記事を使って授業をしたときの様子や結果などを編集部までお寄せください。このコーナーの担当=木田真理、三原龍志(日本語国際センター専任講師)